

まとめサイト休止響く

4～12月期 営業益、予想下回る

IT大手ディー・エヌ・エー（DeNA）が8日発表した2016年4～12月期連結決算（国際会計基準）は、本業のもうけを示す営業利益が186億円と、16年11月時点の予想（223億円）を下回った。誤情報や無断転載で批判された全てのまとめサイトを休止した影響で約39億円の損失を計上したことが響いた。

同時に発表した17年3月期連結決算の業績予想では売上高が前期比2・6%減

の1400億円と、2年ぶりに減収になるとした。

DeNAは主力のゲーム事業が不振で、売上高はピークだった4年前（2024億円）と比べ3割も少ない水準だ。まとめサイトか



記者会見するDeNAの守安功社長（8日午後、東京都渋谷区）

◆まとめサイトを巡る問題が相次いだ

運営会社	対応
DeNA	運営する全10サイトの公開を順次、中止
サイバーエージェント	健康、医療に関する記事を非公開に
ヤフー	無断転載の指摘を受け、独自記事の掲載を取りやめ
リクルートホールディングス	健康・美容に関する記事の掲載を中止

ら得られる広告収入を新たな収益源に育てる計画だったが、出だしからつまずいた格好だ。

守安功社長は8日の記者会見で、「ゲーム事業以外で（経営の）柱を作りたい」と強調した。だが、まとめサイトの休止問題に伴う企業イメージの悪化は否めず、難しいかじ取りを迫られそうだ。

一方、DeNAのまとめサイト休止問題をきっかけに、他社が運営するサイトでも信ぴょう性に欠ける記事の掲載や無断転載の疑いがあることが相次いで判明している。IT大手サイバーエージェントが利用者の関心の高い健康、医療分野の記事の掲載を中止するなど波紋が広がった。

グーグルは日本語検索の評価方法を変更し、「検索結果の上位に表示させることに主眼を置く品質の低いサイト」の検索順位が下がるようにした。一連の問題を受けた対応とみられる。

上智大の音好宏教授（メディア論）は、「メディアとしての社会的責任より、目先の広告収入を重視したことが問題の根底にある。記事の管理体制が厳格な企業が生き残る流れを作る必要がある」と指摘する。